

エコチルサイエンス in 旭川医科大学

「エコチル調査」に協力されておられるご家族へのお楽しみ企画として、昨年度からは対象学年から1学年（今年度は小学校5年生とそのご家族）を選び、参加型・体験型理科実験教室「エコチルサイエンス」を開催しています。さる9月7日に実施され、約3時間に31組（総勢89名）の参加がありました。

今年度のエコチルサイエンスには9ブースの出展があり、そのブースの内容は、1) サーモカメラによる体表温度の撮影、2) 野菜や果物による酸性・アルカリ性指示薬での測定と焼きそば調理での変化、3) ミラクルフルーツによる味覚変化の体験実験、4) 指先での血流の観察、5) 組織にできたがん細胞の顕微鏡観察の実習、6) 森の香り成分と森林浴効果、7) 空気砲、8) 人体骨標本（プラスチック製模型標本）を用いたヒトの体の理解、9-1) 認知課題を含めた作業療法の体験、9-2) バーチャルリアリティーを用いたリハビリ体験コーナーなどでした。

本校は、8)、9-1)、9-2) の計2ブースで出展し、ご家族皆さんで簡単なリハビリテーションにおけるいくつかの作業を体験してもらいました。このイベント企画に本校が参画しているのは、調査対象者の中にはリハビリを受けている子供達が含まれているためです。

長寿の時代を迎えている日本では、エコチル調査の成果をもとに病気やフレイルから健康を取り戻すための様々な取り組みがなされることでしょう。そのアプローチとしてリハビリテーションを活用した働きかけは望ましいことのひとつと考えられます。

本校では、保護者の方々や子供達がリハビリテーションの一端に触れ、それらの面白さや可能性を体験して頂きたいと願っております。

(文責：林 要喜知)